

法人（事業所）理念		のびのびと成長する中で、お子様たちの多様で無限大の可能性を広げ、ご家族へ心の安らぎと安心を届けます。 健康や体調、安全性に配慮しながら、全職員が一つのチームとなり、さまざまな体験や経験を重ねるための支援を提供します。											
支援方針		一人ひとりの障がいや発達特性、ご家族の意向に基づいて、ご本人が持っている「できること」や「強み」に着目し、しっかり向き合い寄り添う支援を行います。 お子様の小さなサイン（表情や声、筋緊張など）に気付き、心身の変化に対応しながら、きめ細かなケアを行います。											
営業時間		10 時		0 分から		18 時		0 分まで		送迎実施の有無		（あり） なし	
		支援内容											
本人支援	健康・生活	・バイタルチェック・全身状態の観察など、来所時の健康状態を把握し、体調に合わせた活動内容を提供していきます。 ・吸引、吸入、経管栄養（注入）、導尿、酸素・人工呼吸器管理など、個別に必要な医療的ケアを行っていきます。 ・水分摂取や体温調整、排泄管理を行い、できる限り日中は起きて過ごせるよう支援し、生活リズムの安定を目指していきます。											
	運動・感覚	・理学、作業療法士などと連携し、関節の拘縮や変形の予防、可動域の維持、運動機能や協応動作機能の向上・発達を促すアプローチを行っていきます。 ・クッションなどを活用した適切な姿勢保持や、リラックスできる姿勢づくりを目指していきます。 ・感覚遊びや運動遊びを通して、視覚・聴覚・触覚などの感覚を十分に活用し、発達を促していきます。											
	認知・行動	・日々の活動や遊びを通じて、日常生活動作（食事、排泄、清潔保持など）の楽しみやスキルの獲得につなげていきます。 ・絵本の読み聞かせ、音楽活動、製作活動、季節行事など、様々な体験を通じて五感を刺激し、認知や行動の発達を促していきます。											
	言語 コミュニケーション	・他の利用者との関わりの中で、共同遊びや製作活動などを通して、社会性の発達を支援していきます。 ・「表情、声、目線、動作などのサイン」に気付けるようきめ細やかに観察し、「身振り、声、指さし、絵カード」などを用いて、自分の意思を相手に伝える手法を模索し、経験を重ねる機会を増やしていきます。											
	人間関係 社会性	・周りを意識して様子を伺ったり、玩具の貸し借りを通して順番を待ったり、共感や応援する経験を重ねることで社会性を身につけていきます。 ・いろいろな職員や児童との触れ合いを通じて、対人関係における受け入れの幅を広げたり、かわり方を学んでいきます。											
家族支援		・保護者との面談や送迎時の申し送りなどを通じて、家庭での状況を把握し、ご家族の不安や期待に寄り添い、連携したサポートを行っていきます。 ・レスパイトケア（一時的な休息）の機会を提供し、家族の負担軽減を図っていきます。 ・保護者同士の交流の場を提供し、情報交換を行います。						移行支援		・本人の興味・関心や可能性を最大限に引き出すためのアセスメントを継続的に行っていきます。 ・学校や医療機関、相談支援専門員などと情報を共有し、一貫した支援体制を構築していきます。			
地域支援・地域連携		・日常的かつ密に情報共有する連携体制の構築を図っていきます。 ・地域交流の機会を緩やかに設け、「共に生きる」社会性の実現を目指します。						職員の質の向上		・社内研修や事業所での各種研修・勉強会を行うことで、職員の知識・スキルアップに努めていきます。			
主な行事等		季節の行事や製作（お正月遊び・節分・ひな祭り・お花見・子どもの日・七夕・夏祭り・ハロウィン・クリスマス）お誕生会・避難訓練・夏の水遊びプールなど											